

1 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」について

【これまでに確認された事項】

- 1 高齢者の課題を中心に、地域でささえ合うコミュニティづくりについて検討する。
- 2 障がい者などのささえ合いについては、高齢者の課題を調査・審議する過程において関連性を考慮しながら検討していく。

ヒアリング調査の実施
(3月～5月実施)

【調査対象】

- ・ささえ合い協力員
- ・ボランティア団体
- ・町内会、自治会

活動状況の把握、課題の分析

追加調査等の検討実施

- ・課題解決に必要な事項の検討
- ・(案)区民会議フォーラムでの報告

(1)「ささえあい」を進める担い手へのヒアリング調査結果

a ささえ合い事業(協力員)に関して

【調査先】

区社協

【主な活動状況】

- ・協力員の教育(入門講座の開催や交流のつどい)
- ・高齢者の話し相手、一時的家事の支援など
- ※一部自治会では、独自で事業を実施中

【主な課題等】

- 1 町内会等各地区にこの事業を広げ、不公平感のない支援実施や組織体制作りやノウハウの提供が必要
- 2 区民(利用希望者)へのPR方法
- 3 区社協で、他制度も含めた抜本的な制度の見直しを検討中のため、その動向を見守る必要がある

b ボランティア団体に関して

【調査先】

区社協、グッドネーバース、柿の実会、さしす

【主な活動状況】

一人暮らしの高齢者の生活支援、配食サービス、肢体不自由、発達障害、自閉症などのグループごとのイベント実施など

【主な課題等】

- 1 対象者からの依頼が少ない。(団体により差有り)
- 2 既存の情報発信だけでは、対象への周知が困難
- 3 それぞれの取組みをPRする場面が必要
- 4 活動場所、人材の確保や活動資金などの問題

c 町内会・自治会に関して

【調査先】

新百合ヶ丘自治会、千代ヶ丘自治会、岡上町内会

【主な活動状況】

グットネーバースと民生委員などと連携した「ささえ合い事業」や防犯・防災活動を通じた、地域の絆作りの展開など

【主な課題等】

- 1 利用者(高齢者・障がい者・子どもなど)が情報入手するのが困難
- 2 役員任期が短く、新たな課題への対応が困難
- 3 防災対策を一つのキーにして、絆作りを進めている事例があったことから参考にできるのではないかと
- 4 有料サービスを利用する人が多くなっている(現状)

(2) 今後の取組み

a ヒアリング調査結果の整理

- ・検討が必要な課題等の整理
- ・追加調査等が必要な事項の洗い出し

b 課題解決に向けた取組みの検討

- ・各調査から見えた課題の解決策の検討
- (例1)
「ささえあい」の取組みを広く周知するための広報方法の検討。
・市政だより等の活用など

(例2)
災害時の助け合いに焦点を絞った、取組みの検討。

c 取組みの担い手・分担

検討した取組みの実行性を上げるため、「行政」「町内会」「ボランティア」等が、どのような役割分担が考えられるのか検討する。

d 今後のスケジュール

任期内に、何をどこまで実施するのか、再度計画を検討し、最終的な提言の目指すべき方向性を具体化する。